

ガンコ親父の

松次郎は次男「学(まなぶ)」の四歳の息子「譲(ゆずる)」に話をしてあげることにした。孫にはたくましい男になって欲しかったので、ライオンとネズミが出てくる「イソップ童話」を選んだが、松次郎にかかると話の内容も少しばかり変わってしまう。

その日の狩がうまく行かなかったライオンは、腹を空かせてイライラしていた。「こげん、腹が減ってしまおうたら力が出んバイ。今やったらイボイノシシにも負けるかもしれん」と情けなくため息をついた。

それを見ていた神様はライオンのことをもっと知る必要があると思つた。神様は獣の中の王様を決定するために調査中で、ライオン以外にも「虎」「ヒグマ」という巨大な獣たちも王様候補として上がっていた。

早速、神様は少し小太りのネズミに変身した。ネズミは危険は承知で、力なく昼寝をしているライオンの周りをウロウロと歩いた。腹を空かしているライオンは、生き物のニオイがしたので目を覚ましてみると、

なんとそこにはネズミが。
難なく捕まえ食べようとしたら、ネズミが震えて命乞いをした。「そんな殺生な。何にも悪いことしてへんのに。ライオンはん、お願いやさかい、命だけはご勘弁を」

ライオンは標準語ではない変なネズミに一瞬たじろいだ。おいどんは腹が減つとるつたい。悪かけど、あんた、もう諦めんね。本当はグルメ派やけん、俺はネズミとか食べんとぼってん、運が悪かったね」とライオンはどがった歯をギラつかせた。

「アタイには小さい十二匹の子供が腹を空かして待ってますねん。どうか命だけは」とネズミは涙を流した。さすがに子供の話を聞いたら考えざるを得ない。滅茶苦茶な九州弁のライオンは情にもろく、ついに逃がしてあげたのだった。

しかし運が悪かったのはライオンの方だった。食べ物を探して弱り切っていたそのライオンは、簡単に人間の罠に落ちてしまった。頑丈なロープに繋がれたライオンは、「もうこれで俺も終わりばい」と諦めかけた。すると小さい穴から、

なんとあのネズミが顔を出した。「ライオンはん、助けに来ましたで」と、二本の前歯で固いロープを噛み切ってしまった。そして、人間のテーブルから盗んできた鳥の丸焼きをライオンに与えた。元気がでたライオンは九死に一生を得、脱出に成功したのだった。

神様は獣の世界の王様にライオンを推挙した。ライオンこそ「百獣の王」にふさわしいと。弱いものの気持をわかってやることのできるものこそ、真の勇者だから。えへん。松次郎はまるで百獣の王になった気分を張って話終えた。

パチパチパチと拍手が聞こえた。振り返ると次男の学がニヤツと笑っている。どうも聞かせ相手の孫より、その親の方に受けたようである。

学は「今日は父の日だから、これで一杯やろう」と「しまっちゅ伝蔵」の一升瓶を差し出した。「お前もネズミくらいには恩返しができるようになったな」と松次郎は皮肉った。「そうね、私も仲間に入れてもらおうかな。ねえ、ライオンさん。ちゅう、酎」と妻の貴代が

ネズミの泣きまねをしながら笑った。



奄美黒糖焼酎

しまっちゅ伝蔵

でん

ぞう

常圧蒸留

昔ながらの手造り
こだわり焼酎
喜界島の豊かな大地の恵と豊かな自然の中で、永年の伝統に受け継がれた製法でじっくりと醸しあげた「しまっちゅ伝蔵」黒糖焼酎の味を全面に出し昔ながらのコクのある味と香りです。



喜界島酒造株式会社
鹿児島県大島郡喜界町赤連296番地12
TEL 0997(65)0251

25度
好評発売中

2009年10月喜界島は「日本で最も美しい村」連合に選ばれ、加盟しました。喜界島酒造は、この活動を応援しています。



百獣の王に乾杯!!

<http://www.kurochu.jp> お酒は20歳になってから。お酒は楽しく適量を。飲酒運転は法律で禁止されています。妊娠中や授乳期の飲酒はお控えください。